Confidential

THE CARE

The CARE 実証事業説明資料

大企業および中小企業の従業員を対象とした ライフステージを支える企業内助産師の有用性検証事業

Confidential

THE CARE

詳細はこちら

看護師と助産師の**国家資格**をもつケアラーが健康や子育てに関する**専門知識**をもって**24時間365日**、社員を**公私ともに支援**する

弊社が提供するサービス

THE CARE

詳細はこちら

企業専属の助産師が、企業とそこではたらく人を継続的にサポートします。

オンライン相談

24時間356日、秘密厳守で健康や子育て、メンタルの相談が可能。オンラインでも、人対人の密なコミュニケーション、温度感を大切に寄り添います。

育休サポートプログラム

妊娠中から職場復帰まで専門家が継続的に支援。産前産後の知識はもちろん、自宅に訪問しての専門ケアは他社にはない先進的な取り組みです。不妊治療の段階からの支援も可能です。

ウェルネストレーニング

看護師や保健師、助産師の資格を活かし、健康やキャリアに関する講義やワークショップを実施。共通の課題を共に学ぶことで、ダイバーシティ・インクルージョンな社風を醸成します。

コンサルティング

相談実績を統計データにまとめ、企業の担当者へ毎月報告。また社会的な動向も含め、専門的な目線と、蓄積された社内実績から御社にあった今後の取り組みを提案します。

※育休サポートプログラムは
今回の実証事業では含まれておりません。

Confidential

THE CARE

詳細はこちら

▶顔が見える安心感

企業様

3名以上

Confidential

これまで

THE CARE

TRIBUS

結果
・サービス利用者は92%の高い満足度と、96%の導入意向
・非利用者であっても76%が導入意向あり
・利用者の3割が男性、幅広い年齢層から利用がある

課題

1）対象者が少なく、業種、企業規模が限定的

2）客観的指標が不足している

3）外部研究機関の介入がない

※RICHOグループにて実証実験，317名が参加，実証期間2週間(2021年2月)

Confidential

大企業および中小企業の従業員を対象とした
ライフステージを支える企業内助産師の有用性検証事業

ポイント

1 企業規模・業種のバリエーション

・対象者数：317名→12,000名

・業種：1業種→10業種以上

・企業規模：大企業→大企業と中小企業

2 客観的指標として3つのスケールを使用

満足度や利用意向だけでなく、ライフワークバランスやストレス、幸福度などにおいて客観的スケールを活用。

・ワーク・ファミリー・コンフリクト尺度日本語版（渡井,錦戸,村嶋,2006）
・Public Health Research Foundationストレスチェックリスト・ショートフォーム（今津,村上他,2006）
・主観的幸福感尺度（伊藤,相良,池田,川浦,2003）

3 外部機関との連携

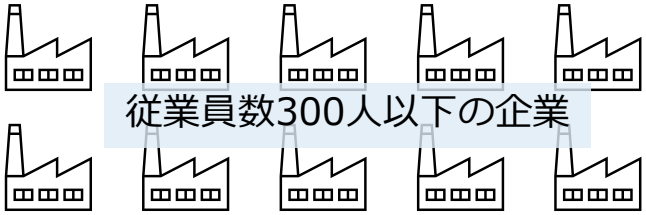
研究機関として
東京慈恵会医科大学（浅川 友祈子氏，医学部看護学科助教 ）との連携

Confidential

事業目標：①企業への助産師介入の有用性検討
①汎用性のあるエビデンスを提示しトップランナーとして当分野の今後の発展に資すること

実証事業期間中

目標：**3社**
目標総従業員数：**10,000人**



目標：**10社**
目標総従業員数：**2,000人**

企業選定のバックアップ

公益財団法人 大阪産業局

経済産業省 近畿経済産業局

①属性　②働きやすさ
③ストレス度　④幸福度　など

導入前後のアンケート調査

集計・分析・エビデンスの報告

実証事業後

1 **トップランナー**として分野の開拓

2 他企業の新規参入**当分野が醸成**する

3 だれにとっても**働きやすい**職場環境

だれもが自己実現できる
ジェンダー平等な社会へ

離職率の低下/産業の発展/ウェルビーイング向上

Confidential

スケジュール

7月 > 8月 > 9月 > 10月 > 11月 > 12月 > 1月 > 2月 > 3月

導入先企業のリクルート

導入前アンケート調査

24時間365日
オンラインシステムを用いた
健康と子育て個別相談

研修　研修　研修

導入後アンケート調査

分析・報告

公益財団法人 大阪産業局　経済産業省 近畿経済産業局

With Midwife

東京慈恵会医科大学

Confidential

THE CARE

The CARE 実証事業説明資料

大企業および中小企業の従業員を対象とした ライフステージを支える企業内助産師の有用性検証事業